

| | | | | |
|----|------------------------------|--|------------|-----|
| 日本 | 西海国立公園九十九島水族館 「海きらら」 | | 2012.6.16 | — |
| 日本 | 日本モンキーセンター | | 2012.10.15 | — |
| 日本 | 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構生理学研究所 | | 2014.1.22 | 5年間 |

3. 学位取得者と論文題目

京都大学博士(理学)

John Sha Chih Mun (論文) : Ecology of Long-Tailed Macaques (*Macaca fascicularis*) and its Implications for the Management of Human-Macaque Interface in Singapore
(シンガポールのカニクイザルの生態とヒト・サル関係の管理についての研究)

京都大学修士(理学)

金 侑璃 : 断眠による感情への影響—ポジティブな気分—
 栗原洋介 : 屋久島海岸域に生息するニホンザルにおける採食行動の群間比較
 酒多穂波 : 随意運動の意図の知覚と運動準備電位
 寺田祥子 : テナガザル科4属にもセントロメア反復配列高次構造は存在する
 若森 参 : マカク属の尾椎形態比較
 江島 俊 : 鞭虫類(*Trichuris sp.*)の遺伝的分化から見た霊長類の地域分化および種間相互作用
 山田智子 : 漢字とひらがなによるストループ干渉～発達による変化～

4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

H Bouchet (フランス共和国、セント・アンドルーズ大学・博士研究員)
(2012.8.20～2015.11.19)

受入教員：正高信男

研究題目：野生ニホンザルの同種内—異種間コミュニケーションの様相に関する比較認知科学的研究

CFE Watson (京都大学霊長類研究所・研究員 (特別教育研究))
(2012.11.30～2014.11.29)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：霊長類における任意慣習と意思疎通ジェスチャーの文化的伝達

SJ Hyniewska (京都大学霊長類研究所・研究員 (最先端・次世代研究))
(2013.9.1～2014.8.31)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：日本人における表情の符号化と解読の検討

H Bernard (マレーシアサバ大学・准教授)
(2013.9.2～2013.11.30)

受入教員：半谷吾郎

研究題目：葉食性霊長類の生息数の決定要因

L Morino (ラトガス大学・講師)
(2013.9.20～2014.9.19)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：類人猿テナガザルの利き手と高次コミュニケーションに関する観察研究

P Sujiwattanarat (カセサート大学・研究員)
(2013.12.18～2014.11.30)